

# 彦名通信

No. **172**  
平成25年3月



**プログラミングコンテスト  
特別賞受賞**



**鳥取県学生建築アイデア  
コンテスト最優秀賞受賞**

## スターリングテクノラリー 米子高専5年連続日本一!!



**スターリングエンジンカー**



**スターリング冷凍機  
二冠達成**

## CONTENTS

### 目次

#### クラス便り

5年機械工学科	2
5年電気情報工学科	3
5年電子制御工学科	4
5年物質工学科	5
5年建築学科	6
専攻科2年	7
学位審査試験体験記	7

#### 年度末特集

学生表彰	8・9
資格試験合格者	9
本年度の求人・進路状況	10
就職試験体験記	10
大学編入学試験体験記	10

#### クラブ便り

スターリングテクノラリー	11
活動報告	12

#### トピックス

プログラミングコンテスト	13
ポスター賞受賞／鳥取県学生建築アイデアコンテスト／ 英語プレゼンコンテスト	14

#### 国際交流

鳥取県・バーモント州青少年交流事業	15
中国地区高専・海外協定校 合同研究発表会	15
国際シンポジウム	16
国際学会他	16
編集後記	16

# 卒業生紹介 機械工学科



## ■5M担任 河添久美

諸君、卒業おめでとう。今年の5年生は年度当初から担任の研究室に相談事や手続き、更には雑談・おしゃべり(?)等で頻繁に出入りをしてきて退屈することが少ない、そして活力を秘めながらも集中すべき時にはよくまとまって集中してくれたクラスでした。そしていつの間にか自立したエンジニアの卵へと変身を遂げたものと感慨深く振り返っています。諸君、どうか、ここで培った友人関係、夢、希望を心の糧に、そしてM科生らしくここ一番での頑張り力を発揮して、未知数の多い前途をしっかりと切り開いていってください。何事に依らず困ったときには、まずは基本と基礎に立ち返ることを。そしていずれは、心から楽しく生活を送れる家庭を築き上げることも忘れないようにしてください。また、いつか諸君の元気な姿を拝見できることを楽しみにしています。

氏名	メッセージ
神村大	5年+1年間で友達が増え、身長が増え、体重が増えすぎちゃいました。ンハハ!!みんなありがとう。
生田彰成	5年間長かった。みんなありがとう。
井田康夫	長いようで短い、とても充実した5年間だった。みんなお疲れ様。
植田健斗	野球、学生会、色々あったけどめっちゃ楽しかった!!一幸、あの日の夜は一生忘れません...///
宇根輝	また会いましょう!
大塚光正	この5年間でウエツツになり佐藤健になりタイコウチになりそして顎が伸びちゃいました。5年間ありがとう。
大塚光	1年1年がとても早く感じた。みんな5年間お疲れ様。
岡本百合子	絶対cになります... ///
北村慎章	5年間ほんとにあっという間でした。クラスのみんな、軽音のみんな毎日ありがとう!
來福開	採血で倒れた時、爆笑してくれる暖かい皆と出会えて本当に良かった...採血したくない...
桑垣瞭	高専での5年間での経験をムダにしないようよい人生を歩んでいきたい。
桑本彰文	僕が世界一の企業創ってみせるから、みんな待ってろよ~。
後藤大樹	楽しい学生生活でした!! みんなありがとう!!
静野光樹	5年間で学んだのは機械用語だけでした。皆お疲れ!!
田原功一郎	光陰矢のごとし、とはホント。真剣でみなさんありがとうございました!
對馬伸幸	5年間お疲れ!まだ来年も米子におるけん、帰ってきたら一緒に呑もうぜb
友森元規	意味を理解せず難しい単語ばかり覚えてしまいました。皆さんありがとう!
中田浩之	5年間ありがとう!みんな個性豊かで楽しかった!これからは課題は自分で解こう!
西尾一希	5年間お疲れさまでした。そして家族より長く共にいたものづくり工房のアルミ達さようなら。
西田拓真	おつかれ++でした。
平田浩平	5年間お世話になりました。みんなありがとう!
福本千等	クラスみんなはもちろん、5年間で知り合えた先輩、後輩、他学科、先生方、全ての人にありがとう。ンハハ!!
福本貢	5年間大変でした。みなさんお疲れさま
松尾英嵩	ゴールだと思っていたけどスタートだった。皆さんお元気で。
松下壮	あーすっごい濃い5年間でした。人生はフリースタイルで毎日がレポリビューション!アースッゴイ♫
松田有加	いろいろあったけど楽しい5年間でした。ありがとう。
松原央樹	笑いの暴走機関車こと横原君のおかげで素晴らしい仲間たちに恵まれました。みんなありがとう!
三嶋啓太	僕の毛根は永久に不滅です...///あとみんなハゲるんでやめて!!!
矢野咲乃	やっと終わった。5年は長かった...。みんなお疲れさま\(^p^)/
山下良貴	毎日が充実してみんなこの時間は本当に楽しかった!みんなお疲れさま、ありがとう!!
横原静信	笑いのエジソンこと松原君による笑いの文明開化により5年間楽しかった!みんなありがとう!!
渡部一幸	健斗に出逢えて...良かった... ///
渡邊光太	ジャンボ...///ピザが切れたから帰国するけど、タロイモみんなに送るネ... ///
渡邊達郎	5年間レポートや課題で忙しかったかもしれないけどお疲れ様。社会に出てもがんばって!!
渡邊亮太	5年間ラグビーばかりしてきました。ラグビー部をよろしく!早く人間になりました~い...
アメル	3年間で米子高専にいるのははやくかんじられる。ながいあいだお世話になりました。
加藤 誉士征	たくさんいい仲間との出会いに感謝。たのしかったよ。

# 卒業生紹介 電気情報工学科



## ■5E担任 庄倉克彦

卒業おめでとうございます。さて、最近気になるのはスマホを使って、何でもネットに頼ってしまい、自分の頭で考えることを忘れてしまっている人が多いことです。既に誰かがやったこと、考えたことを形だけまねしても良い結果は得られません。出所の不明な不確かな情報に踊らされたり、その場の雰囲気流されないよう自分をしっかり持って下さい。基礎を理解し、原理・原則を踏まえた上で自分の頭で考えていかなければ、これからの厳しい世の中で生き残っていくことはできないでしょう。米子高専をきちんと卒業できる君たちなら、それができると信じています。これからの皆さんの活躍に期待しています。

氏名	メッセージ
澤下 陽	7年間お世話になりました！
長谷川 雄大	お世話になりました！僕が首の皮1枚で卒業できるのも、単位をくださった先生方のおかげですm(--)_m
矢田貝 祐輔	多くの先生方や友人に支えてもらいながら無事卒業することができました。ありがとうございました。
山本 花意	2年生で留年して1年多く過ごしたけど、そのおかげで素敵な出会いがあり、充実した幸せな学校生活でした。
足立 優樹	あっという間の5年間。5Eのみんな、高専のみんな、世界のみんなありがとう。私は幸せです。
岩浅 純平	充実した5年間でした。Thank You!!
植田 大貴	5年間の高専生活はとて有意義なものでした。先生方にもたくさんのお話を教えてもらい、感謝しています。
宇山 将聡	Yahoo!占いには一年間お世話になりました。Yahoo!占い、ヤッフウ!!! \ (^o^ ) /
遠藤 駿	5年間、振り返れば短い間だったけど、最後までやってきて良かった。得たものは数多くて、成長できた。
大坪 智弥	おい名前が大坪になってるぞ！どういことだ！
景山 達也	あっという間の5年間でした。色々大変な時もありましたがとても充実した高専生活を送ることができました！
勝部 邦啓	5年間で学んだことが1つだけある。俺は一人じゃなかったってことと、邦啓という存在は一人だけってこと。
勝部 拓磨	5Eの仲間に会えて本当に良かったです。5年間ありがとうございました。
上川 優樹	5年間楽しかったです。・・・ウンでーす！！
上本 光太	タンタツタケタンタハタツピタウタタレンタメイタ、サタイユウタシユタショタウ。 タヌキ
木村 勇太	この5年間クラスのみなさん、先生方には大変お世話になりました！単位を落としたのが心残り…
小池 俊介	5年間私を支えてくれた家族、5Eの仲間、教員の方々、バド部の仲間、浅倉研究室の仲間から感謝・・・
柴田 翔	。すまし謝感に人ので全たっなに話せお間年5のこ。すまい思とだ間年5たきで長成番1で中の生人
角 浩志	高専最後の年に部活で全国に行け、学会では賞をとることができ、とても充実した一年でした。
住田 祐樹	5年間って短いすね。やり残した事もあるけど音楽に部活に愉快な友人と良い日々でした！みんなさんくす！
田中 貴裕	Two More Years.
玉井 将也	お世話になりました。
手島 亮太	米子という地に生まれ、慈しまれ、内側から変えられていった。そういう古里があることを、幸せに思う。
富山 和浩	充実した学生生活を送れたと思います！先生方、先輩、後輩のみなさん、クラスメイトのみなさんありがとう！
中村 宏	楽しかったです。(((^D^))) お疲れ様です。
成相 雅樹	なんとか無事に卒業できそうでホッとしました(-△-)；
二村 信之祐	僕が言いたいことは3つあります。まず1つ目ですが、僕に関わった全ての人に感謝したいということです。
野口 誠一郎	皆さんが入学してきたのが昨日のようです。卒業生のご健勝とますますのご躍進を心よりお祈り申し上げます。
拜藤 聖	朝が弱くて、多くの場で遅刻魔になってしまいました、皆さんごめんください。あさちゃんへGracias.
原 祐介	5年間先生、クラスのみなさんお世話になりました。みんなバラバラになるけど、笑って逢えるその日まで・・・
日高 優介	404 Comment not found. お探しのコメントは見つかりません。
本多 寿弥	ただ、がむしゃらにやって、気づいたらここまで来てた。そういう生き方でいいんじゃないかな。今週のフミヤ
松上 史幸	ティファールさん1年間お世話になりました。お元気です！！
松島 隆幸	50文字で思い出なんて書けるはずがない！5Eの皆さんありがとう！機会があればまた皆で暴れましょう！
松本 凌	本科卒業後、NIMSへ就職します。
三浦 将人	様々な人に様々なことを学んだ5年間でした。みんな、ありがとう！！そして、卒業おめでとう！！
森 健二郎	何でも無いような事があ～幸せだったと思う～なんでも無い5年間二度とは戻れない日々～高専生活に乾杯！
米田 篤史	五年になってたくさん人に支えられていることに気づきました。長くて短い5年間ありがとうございました。
渡邊 秀俊	野球部、バレー部、E科の先生、お世話になった人みなさんありがとうございました！

# 卒業生紹介 電子制御工学科



## ■5D担任 能登路 淳

この米子高専での学校生活はどうでしたか？ 長かったと思う人、楽しかったと思う人、それぞれだとは思いますが、とにもかくにも卒業おめでとう。さて私自身、初めて5年担任・就職担当を経験しましたが、就職試験では1社目で内定となる学生が非常に少なく、その時は内心かなり不安を感じることもありました。しかし、誰一人就職戦線から離脱することなく頑張ってくれたお陰で、9月には全員の内定が決まり、ホッとしました。何社も受験した人にはいい勉強になったでしょうし、社会の厳しさを少しは実感できたのではと思います。将来、それぞれの道で元気に活躍している皆さんに会えることを楽しみにしています。

氏名	メッセージ
竹中直輝	社会に出てからも米子高専の名に恥じないように頑張ります。
西村章吾	卒業しても今まで以上に頑張っていきたいです。
中野芳勇	苦しい時も多かったけど、楽しい学生生活をありがとうございました。
松本遼馬	6年かかりましたが、なんとか卒業できてよかったです。
丸田修平	米子高専で学んだことをいかし、社会へ出て頑張っていきたいです。
磯本和真	5年間お世話になりました。5D、部活のみんなありがとう！
井田牧人	個性的な仲間のおかげで5年間楽しかったです。
犬飼健太郎	5年間あっという間でしたが、仲間達と素晴らしい時間を過ごすことができました！！
内田雅人	高専に入学し、色々な人と音楽を知るうちに、キーボードクラッシャーとして君臨することが、僕は満足です。
貝田悠輔	自分は成績がとてよくライバルがたくさんいましたが、常に上位にいたことができ満足いく5年間でした。
賀須井渉	高専生活で学んできたことを今後も生かし日々精進してがんばります。
門脇亮	5Dのみんなへ、自分だけの信念、価値観、考え方を忘れず社会へ出て成長し、楽しんで下さい。
河口啓太	D科の皆様、卒業おめでとうございます。私達D科のメンバーは、共に生き、支えあいここまでこれたと思ひ・・・
黒見紀之	5年間あっという間でした。ありがとうございました。
佐藤健太	5年間ありがとうございました。新天地で互いにかんばりましょう。
早苗孝将	まだあと2年あるので頑張りたいと思います。
下尾賢二	とても意義な5年間であったと思います。片道二時間弱の通学は大変でした、本当に。
砂原基	たくさんの方に支えられて5年間過ごすことができました。本当に感謝しています。
曾田貴昭	5年間、希志あいののおかげで、続けてこれました。ありがとうございます。希志あいの。まかまか
多田圭佑	曾田君へ、20年間お世話になりました。
田中勝也	私たちはこの5年間、校長先生をはじめ、諸先生方また、学校周辺の地域の方々を支えられながら高等教育を受けてきました。
寺本巨宏	中学校の頃に夢見ていた「エンジニア」に一歩近づけたと思います。ありがとうございました。
内藤寛晃	5年間、ありがとうございました。
長尾武志	5年間色々とお世話になりました。
長戸誠良	高専生活5年間、終わり！
西川大河	5年間楽しかったです。本当に最高の仲間でした。ピーター！！藤村君に続きます。TAIGA∞より
西村陵	俺のいない生活は醤油のない寿司みたいに味気のないものだと思うけど、常に上を向いて頑張ってもらいたい。
長谷川直孝	5～7年間おつかれさまでした。
廣池颯人	5年間お疲れ様でした。
廣江翼	5年間ありがとう！また会おう。
福山貴大	わっしょい！わっしょい！うっぴんぴ～ん！！！！
藤村駿造	5年間つかれました。ありがとう、きみまゆ。
山本太一	すべての面でぎりぎりでしたが卒業できてよかったです。この5年間は一生忘れることはないでしょう。
横山大志	多くの先生方先輩後輩に支えられた5年間でした。特にテニスコートでは多くのことを学びました。サンキュー律！
渡邊尚之	5年間とても楽しかったです！！新天地でもがんばります！
渡邊直紀	最後に、この数式を残します。Y=exp(t) sint. 人生には波があるが着実に成長していく、まさに人生

# 卒業生紹介 物質工学科



## ■5C担任 田中 晋

皆さん、卒業おめでとうございます！私自身初めての5年生担任で手探り状態の1年間でしたが、4年生から2年連続で担任させてもらい、皆の成長を見ることができたからこそ、一緒に頑張ってきたのだと思います。そして、それぞれが夢見て選んだ進路へ、これから旅立っていくことを大変嬉しく思います。高専で過ごした時間は、今となってはあつという間のことと思いますが、良かったことも、悪かったことも、高専で過ごした大切な時間が、これからの人生の大きな糧となることを期待します。慣れない新たな環境での仕事や勉学が始まりますが、まずは気を引き締め、真摯に取り組んでください。さらに、大きく成長した姿に出会えることを楽しみにしています！

氏名	メッセージ
小鉄 将太	7年とか長老じゃないっすか！楽しかったよ？
北野 貴之	高専嫌いでした。でも楽しかったよ。ありがと。
田中 井良也	バツ1、子持ち、18歳、JK、兵庫出身、高専生、来年結婚します。ファンクラブは解散だそうです。
松井 郁也	卒業といえば僕ももう21歳なのであつちの方も卒業しないといけませんね。あつ離乳食のことです。
赤井 大気	5年間お世話になりました。
浅川 美有	何度も言いますが“みゆ”じゃなくて“みう”です！
有田 福蓮也	超ざぼちいいー
石田 貴洋	最初はどうなるかと思ったけど…楽しかったです！
植田 咲香	⑧かくお礼を申し上げます。5年間お世話になった全ての人へ…
宇田川 太恵	スネオヘアー、帽子のツバ、スキ어의ジャンプ台と言われ続けた5年間。僕の前髪は今日も元気です。
藤里 里穂	⑨ぶんの髪を労おう、いつまでも。
香川 莉穂	感謝でいっぱい5年間でした。みんなに出会えてよかったです。ありがとう♡
景山 大地	ともくちのポストを覗いてしまいました。そこに僕は大人の世界を見ました。
景山 明日香	カラオケとK-POPにハマった5年間でした(笑) 素敵な友達にもたくさん出会えました。ありがとう♡
勝部 友哉	個性豊かな西村恭彦を愛した5年間…僕は幸せでした。どこがゴリラだって？
門脇 遥奈	施しをありがとう。これからはグミを我慢して、エンゲル係数を減らします
嘉村 本夏	大切な思い出が沢山詰まった高専生活でした♡卒業するのが寂しいですっ。
岸本 陽陽	⑩ろんなパンクンにはさまれて実験しました。そんな私はディキコンペン。
黒見 彩和子	⑪ぶPum-9!! らぶ藤井研!! らぶユナクー!!
水谷 渚	何度も言いますが、“みずたに”じゃなくて“すいたに”です!!
末次 和喜	個性豊かな人ばかりで退屈しない日々だった。ありがとう！
菅田 真子	景山君にはボールぶつけられたり、たくさん泣かされました。みなさん支えてくれてありがとう。
瀬崎 洋至	5年間ありがとうございました。
竹内 祐太	友哉が5年間寄せた西村恭彦に愛されて過ごした高専生活…僕は幸せでした。誰の顔が煮玉子だって？
竹村 祐輝	俺たちの戦いはこれからだ！(専攻科)
立道 大雅	表現が卑猥すぎるため掲載できませんでした。
田中 博之	非常に多くの事を学んだ5年間でした。大変なことも多かったけど楽しかったです。
辻中 友樹	楽しかったけど、ぼーっとしていた5年間でした。いやまだ2年あるけど…
中村 公美	⑫一いんぼーしょくにはきをつけます
永井 玲於奈	手癖の悪い景山君に恥ずかしいメールを見られたこと、忘れません。みんな愛しているよ!!
成田 貴光	あつというまの5年間でしたがお世話になりました。
西村 恭彦	煮玉子…それはsweetな味わい、ゴリラ…それは勝部、みんなのおかげで楽しかったです。ありがとう
野々村 拓也	5年間お疲れ様でした。
平岡 拓洋	みなさん本当にありがとうございました。最後に私の「千の風になって」を聴いてください。
福田 友法	ありがとうございました。みんないいひとでした。
牧田 仁	クレイジーランまじクレイジー。
松永 ころ	いろいろありました。ほんとにいろいろ。卒業したくない(°ω°)
松本 竜弥	いいかぁ？1回しか言わないぞ『ワイルドだろっ~?』
森山 和也	みんな愛してます！ありがとう！
矢部 あゆみ	制服は喪服みたいだったけど役に立ちました。これからは極道の世界で生きていきます。
横山 聡美	感謝感謝の5年間でした！みんなありがとう★
クリス リス	Shoot for the moon. Even if you miss, you'll land among the stars.
ヤジドゥル	I ♥ 高専
松崎 悠己	濃い人と多く出会った2年間でした。楽しかったっす！
山口 翔太	色んな変わった人と出会えてよかったです♡

# 卒業生紹介 建築学科



## ■5A担任 熊谷昌彦

卒業おめでとうございます。今年度も景気の低迷はつづいており、就職と進学に大変だったと思います。皆さんの頑張りですべての学生が進路を決定しました。他方、建設不況のなか、スカイツリーが5月に開場する等注目される建物も建設されました。また、全国高専デザコンの構造部門で最優秀賞と審査員特別賞、空間部門で優秀賞を獲得しました。学生時代に学んだ基本にかえることを念頭におき、さらに活躍することを期待しています。

氏名	メッセージ
押本雄大	おかしいな、人より1年ながかった？
門脇明日和	長くて短い間だけとお疲れ様
藤原玲生	6年間お世話になりました！！
村尾太一	みんなありがとう！ デジモンワールド行ってくる！
青山光貴	高専に入学してからもうすでに5年。めっちゃ短かった。5年間ありがとうございました。
足立恵里子	私のかわいさに全米(子)が泣いた。
安達知里	5年間楽しかった！とか(笑)
池本孝一朗	オレのKY発言って“恋の予感”って意味だけ。
石指友基	もうちょっと学生してから社会に出ます。みんな5年間ありがとう
石高佑樹	え？それ公式どおりだよ！
浦木博之	もう好きにしてください・・・。
遠藤貴子	登りつめたよ、てっぺん。てへぺろ☆
首田麻耶	ゴロリ「わくわくさん、わくわくさん。今日は何をつくるの？」
絹田裕輔	コニクリートだりー。
清水優里	女バスが消滅しませんように(^p^) みんな元気で頑張ってるね！
関拓樹	許せ、サスケ
瀬戸根未和	わくわくさん「今日は宇宙を作るよ」
妹尾哲之	僕が死んだら・・・僕は絶滅するんだ。
高下義博	ガイヤが俺にもっと輝けと囁いている☆
椿翔平	おめでとう。卒業できて。うれしいな。
寺澤美春	クラスのアイドル？え、私？
中田朋幸	鍵穴に鍵を差し込むのが苦手です。まあDTなんで。
中西和全	玉井先生よりビッグになります。
永見全	5年間ありがとうございました。
濱上玉緒	5年間おつなべでした。卒業をありがとう。
濱元沙也加	ピピピカチュウ！（5年間苦しい事いっぱいあったけど友達と家族のおかげでりきれたよ！）
林原孝樹	製図室！？あ～俺の寝室ね。
廣瀬未佳	お疲れさまでした。たーかーのーつーめー(f・▽・)f石倉！
廣谷慶太	おつかれさまでした。
前田沙央理	おつかれさまでした。
松崎篤洋	神の誕生に立ち会ったのは私です。
松崎篤洋	↓好きだバカ♡
村上大昂	↓
村上大昂	バイバイあっち♡
村山雄介	あららち... ちょっとごめんな兄ちゃん そこだいてくれるか 友達なんだよ
山根万実	神を生んだのは私だ。
吉田千紘	これからも親しみを込めてよっしーと呼んで下さい。
渡邊真大	もうちょっと学生やります。

# 専攻科修了生紹介

## ◆専攻科長 大塚 茂

この3月の専攻科修了生総数25名は、米子高専専攻科の第8期修了生となります。改めて、専攻科修了生の皆さん修了おめでとう御座います。今期の修了生は、全員が米子高専の本科を卒業し専攻科に入学した諸君であり、このことは米子高専における専攻科の存在が十分に認識され、その存在価値が認められてきた証左であると思います。各人、修了後には、社会人として実社会に船出する人、あるいは大学院へと進まれ学問に一層精進される人それぞれに新たなスタートが待っています。これからが、本来の意味で皆さんの自発性や自律性、そして個性が活かされる時期となります。それだけに、米子高専専攻科で培ってきた5つの力、基礎力・応用力・発展力・倫理力・コミュニケーション力を遺憾なく発揮され、それぞれに責任ある立場で活躍されることを望みます。

修了に際し、社会人・元企業人の先輩としてアドバイスを一言申し上げます。それは、「不進即退:進まざるは、それ即ち退くことなり」です。日進月歩の今日、特に企業においては、世界的な経済不況の影響もありグローバルな環境の中で生き残りを懸けた他社との開発競争が熾烈です。これに勝ち残るためには、常に他社に対し一歩先を目指し進んで行く気構えを持ち続け、今日やれることは今日の内にやり切る姿勢を持って下さい。効率的な仕事運びにより新たな時間を創り出すことで、明日のための教養や特技に活かすことも、趣味や休息に使うことも可能となります。社会生活の改善と向上に貢献しつつ、個人としての豊かな生活も享受できる、バランスの取れた幸せな人生を歩まれますことをこの地よりお祈り致します。

## ◆生産システム工学専攻

氏名	メッセージ
新 優 志	多くの方々に支えられ、ようやく夢のスタート地点に立つことができます。本当にありがとうございました！
足 立 一 馬	チーズケーキ。創造実験。満潮の定食。どれも専攻科のいい思い出です。7年間お世話になりました。
太 田 拓 巳	先生方、職員の方々、友人、先輩、後輩に支えられ、多くの経験を積む事ができました。有難うございました。
大塚 健 太	いろいろありましたが楽しく学校生活をおくる事ができました。ありがとう！
河 本 修 平	7年間色々なキカイに触れる事ができ、人として大きく成長出来たと思います。お世話になった皆様方に感謝！
木 下 大	高専生活を振り返ると、辛い事もあったけど最終的には自身にとって最高の7年間でした。みんなありがとう！
楠 本 雄 裕	7年間、充実した学生生活を送ることができました。先生方、先輩、後輩たちに感謝です。
富 谷 真 吾	この7年間は様々な先生方、寮の方々に迷惑をかけすみませんでした。そして、ありがとうございました。
中 村 則 貴	長そうで短かった7年間の高専生活、お世話になった先生方、友人、家族に改めて感謝の意を表したいです。
西 林 郁 弥	本当に長い間お世話になりました。お土産を持って帰ってこようと思います。
松 本 遥	7年間お世話になりました。社会に出てもがんばります。
湊 崎 拓 也	悩みに悩んで決めた高専。楽しく、ためになる学生生活を過ごすことができました。お世話になりました。
安 田 直 幸	高専で過ごした日々はとても貴重な財産です。この7年間でお世話になった方々、ありがとうございました！
山 崎 翠	とてつもなく濃い二年間でした。高専生活での先生方や友達との出逢いに感謝しこれを糧にもっと成長します！
渡 邊 淳	卒業・修了はまだ社会人のスタートライン！これから更に精進！

## ◆物質工学専攻

氏名	メッセージ
大塚 翼	本科から専攻科まで色々なことがありました。これらを活かして頑張ります。(終)
大 岩 正 和	色々な意味でスキルアップした7年間でした(さらに遠い目)。本当にお世話になりました！
角 襟 香	たくさんの先生や学生にお世話になり、楽しい7年間を過ごすことができました。
松 田 将 悟	多くの先生方にご迷惑をおかけしました。これから日々精進します。
渡 邊 健 太	竹中先生、大変お世話になりました。これからカッコいい大人を目指します。

## ◆建築学専攻

氏名	メッセージ
海 道 真 一	好きなことしかできない自分から卒業します。稲田先生、ありがとうございました。
角 隼 人	先生方、家族、友人、先輩後輩など様々な方々に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。
住 友 美 香	7年間は思っていた以上にあっという間でした。お世話になった先生方には感謝してもしきれません!!
萩 原 由 也	多くの人への感謝の気持ちを行動で示し、学んだ事を活かせるように今後も前を向いて走り続けます。
渡 瀬 茜	7年間で沢山のことを学びました。お世話になった先生方ありがとうございました。

## 学位試験体験記

### 生産システム工学専攻 木下 大

今年度平成24年12月16日、岡山大学で学位試験を終えてきました。思い起こせば学位成果レポートを10月に提出してから約2ヶ月間は、日々の研究とは違って自分との戦いでした。どんな問題がでるだろう、論文に不備はないかなといった不安の中、指導教員の先生や同級生みんなにフォローしてもらいながら試験に向けて研究内容を掘り下げて確認していきました。しかし、不安は募るばかりで、試験前日の夜は心配で眠れず、自身の論文とにらめっこしながら試験当日を迎えました。いざ試験会場へと向かい、試験監督の方からの諸注意を聞き、試験問題が配付され、試験が始まりました。この後はただ、自身の知っていることを書くだけです。時間一杯解答用紙を埋めて試験を終えました。試験の結果がどうかは体感では分かりませんが、研究を指導して下さった指導教員の先生のおかげで自信の持てる結果が残せたと思います。本当に3年間ありがとうございました。

### 生産システム工学専攻 山崎 翠

専攻科生にとって、学位試験は専攻科2年間の集大成であり、ここでつまずくわけにはいかない大事な試験です。そのため、私は何日も前から様々な問題を想定して勉強を繰り返し、対策を重ねることで、試験に対する不安を取り除くよう頑張っていました。とは言うものの、いざ試験当日となると凄まじい緊張感に襲われ、合格できる自信など到底持てないような心境に陥ってしまいました。しかし、今まで学んできた成果を精一杯発揮するしかないと思い、使い慣れたペンを握りしめ試験に挑みました。試験開始直後は、想定していたものとは異なる問題に少し困惑してしまいましたが、書き進めると自然と落ち着きが出てきたので、初めは戸惑った問題にも冷静に対応でき、無事試験を終える事ができました。これも全て、本科時代から熱心にご指導くださった先生、また試験勉強に協力してくれた研究室の皆、そして試験に向けてお互い励まし合うことができた専攻科の仲間たちのおかげだと思っています。本当にありがとうございました！

# 平成24年度学生表彰

今年度、「特別優秀賞」、「優秀賞」として表彰を受ける学生は次の通りです。

★特別優秀賞：在学中顕著な成績を修め、優秀賞を複数回受賞した者。

★優秀賞：県大会3位以上の成績を修めた者。

なお、紙面の都合上、大会名・種目名、成績については代表的なもののみ記載としました。学生表彰被推薦者の詳細は、本校ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

## ・ 特別 優 秀 賞 ・

### 学業優秀

S2 角 襟香 (日本化学会中国四国支部支部長賞)	M5 中田 浩之 (日本機械学会富山賞)
E5 田中 貴裕 (電気・情報関連学会中国支部賞)	D5 長谷川直孝 (電気・情報関連学会中国支部賞)
C5 赤井 大気 (日本化学会中国四国支部支部長賞)	A5 遠藤 貴子 (日本建築学会中国支部優秀卒業生)
<b>スターリングエンジン部 第15回スターリングテクノロジー3Vクーラー部門</b> 1位 ほか	
M5 松田 有加 M5 矢野 咲乃 E5 遠藤 駿 E5 景山 達也 E5 勝部 拓磨 E5 住田 祐樹	8位 ほか
<b>ヨット部 第67回国民体育大会セーリング競技会 天皇杯団体</b>	
C5 平岡 拓洋	2位 ほか
<b>水泳部 平成23年度第46回全国高専体育大会水泳競技大会男子200m平泳ぎ</b>	
A5 村尾 太一	最優秀賞 ほか
<b>全国高等専門学校デザインコンペティション2012in 小山構造デザインコンペティション</b>	
A5 浦木 博之	奨励賞 ほか
<b>平成24年度(第63回)電気・情報関連学会中国支部連合大会</b>	
S2 富谷 真吾	

## ・ 優 秀 賞 ・

<b>陸上競技部 第47回鳥取県高等学校総合体育大会(陸上競技) 男子走幅跳</b> 優勝 ほか	
D3 数原 有綺 M2 勝部 侑磨 E2 山脇 克海 C2 亀井 信之介	2位
<b>バスケットボール部(女子) 第13回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭バスケットボール競技成年</b>	
A5 清水 優里 A4 永井 萌 A4 藤山 愛己 D4 濱田三奈美 C4 磯山 美華 C4 磯山 直美	
A3 小合 莉穂 A3 野津 美晴 A2 若林 咲 A2 福本 智加 A1 宮坂 杏菜	
<b>卓球部 第47回鳥取県高等学校総合体育大会卓球競技 男子学校対抗</b> 3位 ほか	
M3 松原 一喜 E3 芳尾 宏和 D3 石塚 智大 D3 山崎 大智 A3 藤原 圭康 M2 永井 知明	
M2 持田 宝蓮 E2 原田 敦史 D2 出井 雄大 C2 大畑ひかり A2 箱木 昂 A2 山根 拓也	
C1 伊藤 蓮 D1 山崎 雅史	
<b>柔道部 第47回全国高等専門学校体育大会柔道競技 48kg超級</b> 3位 ほか	
C3 南口 弓子	
<b>ハンドボール部 第47回全国高等専門学校体育大会ハンドボール競技</b> 3位	
E5 玉井 将也 E5 野口誠一郎 E5 拜藤 聖 C5 立道 大雅 C5 牧田 仁 A5 濱元沙也加	
C4 武良 亮介 C4 山根 創 A4 石賀 恵太 E3 阿部 舜也 E3 荒木 宏平 M2 足立 拓也	
M2 谷口 勇人 M2 福嶋 駿 M2 福頼 太 A2 中田 希望 A2 山田 晃希	
<b>水泳部 第65回鳥取県選手権水泳競技大会 男子 200m平泳ぎ</b> 1位 ほか	
A5 村尾 太一 C3 稲葉 幹平 A2 森田 悟史 M1 池内 悠人 E1 澤田 涼平	
<b>ヨット部 第67回国民体育大会セーリング競技会</b> 1位 ほか	
C5 平岡 拓洋 E3 西尾 知美 M2 上原 康平 E2 倉田 太浩 M1 平岡 哲磨	
<b>テニス部 第47回全国高等専門学校体育大会テニス競技(男子ダブルス)</b> 3位 ほか	
D5 藤村 駿造 D5 横山 大志 E3 井中 雄也 E3 梅林 浩規 D3 笠原 慎 E3 角 敏彦	
C3 井田 健太郎 C3 竹内 和也 C3 七瀬 浩希 A3 吉岡 大輝 M2 竹内 大貴 M2 藤澤 康太	
M2 和田 直樹 C2 阿部 和弥	
<b>空手道部 平成24年度鳥取県高校総体鳥取県予選空手道の部 男子個人形</b> 3位 ほか	
E3 岡本 美紀 M1 景山 晴規 M1 福光侅太郎 M1 宮本 孝輝 E1 生田 悠華 A1 木下 実優	
A1 新宮 晃平 A1 中山 貴裕 A1 平野 颯太	
<b>科学部 2013「天文ガイド」1月号読者の天体写真月例コンテスト</b> 入選 ほか	
E3 林原 真史 C3 大脇 秀捷 C3 加川 庸一 C3 川上 優太 C3 久古 貴将 C3 富田 拓也	
C3 波多野 瑤 C2 笹谷 航 C1 田原早央莉 C1 永見 莉奈	
<b>スターリングエンジン部 第16回スターリングテクノロジー100Vクーラー部門</b> 1位 ほか	
M4 佐藤 光一 M4 谷村 幸太 M4 新田 晃大 E4 齊尾 侑哉 E3 坂隠 俊彦 E4 平木 飛鳥	
E4 山西晋太郎 M3 石賀 博志 E3 影岡 大輔 M3 柴田 夏来 E3 山根 大典 M2 高津 昇吾	
D2 清水 航 M1 影岡 翔太 M1 影山 千春 M1 平野 翔哉 M1 渡部 航大 E1 山田 隼	
D1 大杉 健人 D1 澤田 将吾 A1 小川 祥吾	
<b>放送部 第59回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 創作ラジオドラマ部門</b> 準優勝 ほか	
D3 西尾 彩加 A3 岩本 直樹 A3 潮 駿太郎 A3 田中 優哉 A3 松本里佳子 M2 権藤 正也	
E2 稲田 雄馬 E2 勝部 佳揮 E2 可知 佳晃 E2 小西 那奈 E2 澤田垂伊里 E2 田草健太郎	
D2 内田 幸佑 D2 小森 涉 D2 中野 真吾 C2 村上 明首 M1 武田 成洋 E1 石田 宇宙	
E1 糸賀 輝明 D1 恩田 延彦 E1 草巻 真吾 E1 菅 尚史 E1 谷口 正明 D1 小椋 創太	
D1 山根 匡翔 C1 田口 舞 C1 竹内彩結美 C1 田中 佑季 C1 谷口菜奈子 A1 荒田 倅利	
A1 高下 弘路 A1 畠山 瑞稀	
<b>書道部 第17回全日本高校・大学生書道展</b> 展賞 ほか	
E4 前田 果澄 C4 増田 萌 C4 三島 瑠美	
<b>ボート 第47回鳥取県高等学校総合体育大会ボート競技の部</b> 3位	
M1 桑名 維吹	
<b>ボクシング 平成24年度第66回中国高等学校ボクシング選手権大会</b> ベスト4 ほか	
E3 松永 勝利	
<b>カヌー 全中国カヌースラロムワイルドウォーターレーシング選手権大会</b> 1位	
M1 恩田 晃匠	
<b>プロコン 全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト自由部門</b> 特別賞	
D4 木山 雄太 D4 近藤 醇 D4 盛山竜之介 D4 田中 雄介 D4 鷺見 知洋	
<b>デザコン 全国高等専門学校デザインコンペティション2012in 小山構造デザインコンペティション</b> 最優秀賞(国土交通大臣賞) ほか	
A5 足立恵里子 A5 安達 知里 A5 浦木 博之 A5 清水 優里 A5 村尾 太一 A4 石賀 恵太	
A4 上田 信良 A4 岡崎 椋平 A4 藤原 淳 A4 藤山 愛己 M1 渡部 航大 A1 高田穂乃香	
A1 坪倉 那奈 A1 宮坂 杏菜	
<b>外国語 第28回中国地区高等専門学校英語弁論大会スピーチ部門</b> 1位	
C4 長谷川美桜	
<b>珠算 第31回さんいん珠算競技大会個人総合(中学校以上の部)</b> 3位 ほか	
C2 竹信 龍	
<b>2012年度精密工学会中国四国支部島根地方講演会</b> 優秀講演賞	
M5 神村 大	

S2	安田直幸	S1 遠藤 弘樹	M5 井田 康夫	M5 北村 慎章	M5 田原功一郎	M5 松田 有加	最優秀賞
S2	富谷真吾	S1 荒木 優一	E5 角 浩志				優秀ポスター賞
M2	岩田寛大	M2 澤田 龍一	M2 中西明日可	M2 持田 宝	M2 山根 映介	M2 山尾 涼介	生物1位 ほか
M2	大木悠平	M1 山村 章人					
S2	渡邊健太	C5 竹内 祐太					最優秀ポスター賞 ほか
C5	横山 聡美						優秀発表賞
C3	井田健太郎	C3 遠藤 未来	C3 大江ひかる	C3 西尾 幸祐	C2 田中 美樹	C2 若槻 千晶	文部科学大臣賞 最優秀プレゼン賞
C3	井田健太郎	C3 遠藤 未来	C3 大江ひかる	C3 西尾 幸祐			
C4	安部 希綱	C4 香川奈緒子	C4 重永 皐月	C4 谷輪 弥音	A4 千原 那月		金賞(最優秀賞) 派遣団選出
C5	浅中 美有	C5 横山 聡美					優秀ポスター賞
C5	門脇 遥奈						優秀ポスター賞
C5	赤井 大気						ポスター賞
C5	松井 郁也						優秀賞
C5	嘉村 茅夏						最優秀賞 ほか
A5	清水 優里	A5 林原 孝樹	A5 松崎 篤洋	A5 村山 雄介	A5 山根 万実	A3 安部 夏緑	奨励賞
A3	松本 萌夏						
S1	中澤 諒一	S2 西林 郁弥					優秀発表賞
S1	荒木 優一						合格
S2	河本 修平						

学会表彰

S2	富谷 真吾	(電気学会中国支部奨励賞)	S2	富谷 真吾	(電気学会優秀論文発表賞)
S2	海道 真	(日本建築学会中国支部構造賞)	M5	岡本百合子	(日本設計工学会武藤栄次賞優)
E5	上本 光太	(電気学会中国支部奨励賞)	E5	角 浩志	(電気学会中国支部奨励賞)
E5	松本 凌	(電気学会中国支部奨励賞)	E5	渡邊 秀俊	(電気学会中国支部長賞)
C5	野々村拓也	(日本農芸化学会中国四国支部学生奨励賞)	C5	横山 聡美	(化学工学会中国四国支部支部長賞)
A5	林原 考樹	(日本建築学会中国支部優秀卒業設計作品)			

# 平成24年度資格試験合格者

キャリア支援室長 玉井孝幸

資格は、就職する際に大きなアピールポイントになります。理由は、学生中から資格を取得している学生は、就職後も「自己研鑽に励み」、「さらに高度な資格を取得」してくれると考えるからです。また、企業の評価点の中に有効資格社員数もあり、営業活動上でも有効資格者は非常に重要で、給与等の面でも優遇されることもあります。授業の課題等で忙しいと思いますが、ぜひ資格を取得して下さい。最後に、学生の資格取得のため日々ご尽力いただいている教職員に皆様に厚くお礼申し上げます。

資格名	取得者	
T O E I C	C5 ヤンドゥルハフィズ C4 ザムリ M4 ファイス E4 アミン M5 アメル A4 船越 杏子 C5 赤井 大気 E4 オーシャダ C4 ムーン D5 生田 和也 A5 清水 優里 C5 松井 郁也 C4 トウイ C4 重永 皐月 M5 松下 壮 M5 松原 央樹 D4 木山 雄太 C4 久保田知子 C2 山本 直樹 D4 安田 大介 M5 宇根 輝 C5 竹内 祐太	
実用英語検定2級	A5 清水 優里	
実用英語検定準2級	M1 前高 匠登 D1 篠原 貴史 C3 竹中 和也	
工業英検3級	C2 竹信 龍	
工業英検4級	M1 門永 星護 M1 池内 悠人 M1 磯岩 尚汰 M1 小谷 季澄 M1 妹尾 真希 M1 井上 航輔 M1 青山 千歩 M1 塚田亮太郎 E1 関 雅俊 E1 野口 慶 E1 澤田 涼平 E1 根来 由晋 E1 石倉 直樹 D1 後藤 圭 C1 三上 大貴 C1 井上 耕多 C1 田原早央莉 C1 竹内彩結実 C1 高田 知里 A1 松本 遼 A1 遠藤紗也花 C1 高下 弘路 A1 石橋 洋平 A1 畠山 瑞稀 A1 足立 香織 A1 貝田 萌花 M2 高津 昇吾 M2 大木 悠平 M2 竹内 大貴 M2 友森 祐介 M2 和田 直樹 M2 澤田 龍一 M2 生田 広大 M2 上原 康平 M2 藤澤 康太 E2 小西 那奈 E2 福田 駿 E2 田中 聖也 E2 森田 寛人 E2 福田 亮 E2 前田 祥吾 E2 近藤 由典 E2 小林 和史 E2 長岡 友菜 E2 勝部 佳揮 E2 岸 智久 E2 田草健太郎 E2 可知 佳晃 E2 松本 侑也 E2 神庭 大智 E2 長谷川卓也 E2 安木 岳規 E2 米原 涼平 D2 小椋 康弘 D2 細田 前行 D2 田中 貴大 D2 宮勝 郁也 D2 吉江 晴海 D2 林 聖高 D2 長谷川 滉介 D2 角田 俊哉 D2 田村 樹 D2 妹尾 綜一郎 D2 山田 峻兵 D2 船越 巨留 D2 福田 雄大 D2 松田 郁也 C2 小林 美優 C2 弓手 理沙 C2 村上 明音 C2 青戸 淳和 C2 内田 萌夏 A2 古田 彩花 A2 土山 颯太 A2 高島慎太郎 A2 矢田 貝凌太 E1 西村 匠平 D1 竹崎 大輔	
	技術士補(機械部門)	S2 河本 修平
	危険物取扱者甲種	S2 大岩 正和 S1 廣見 祐太 C5 野々村拓也
	危険物取扱者乙種第4類	E5 富山 和浩
	第二種電気工事士(科目合格)	E5 松本 凌①
	第三種電気主任技術者	E4 添田 圭佑 E5 森 健二朗 E5 中村 宏
	第三種電気主任技術者(科目合格)	E5 三浦 将人① E5 松本 凌②
	基本情報技術者	E5 中村 宏 D3 矢口 由季 D2 小椋 康弘
	二級建築士	S1 小池 僚子 S1 松本幸太郎
	二級建築士(学科合格)	S1 前畑 佑二 S1 下根奈央人
	工事担任者DD3種	E2 可知 佳晃 E2 西澤 侑吾 E3 成瀬 翼 E3 青山 正樹 E3 角 敏彦 E3 梅林 浩規 E3 西尾 知美 E3 阿部 舜也 E3 盛山翔太郎 E3 林原 真史 E3 橋本 拓也 E3 堀越 絵廉
	工事担任者DD3種(科目合格)	E2 小林 和史①
	工事担任者AI-DD総合種	E5 上本 光太
	消防設備士乙種第六類	E5 澤下 陽
第4級アマチュア無線技士	E4 山西晋太郎	
ファイナンシャルプランナー2級(個人資産相談業務)	E5 拜藤 聖	

# 本年度の求人・進路の状況

## ■ 本科の進路状況

5年学年主任 電子制御工学科 能登路 淳

今年度の求人状況は、東日本大震災の影響と長引くデフレ不況のため昨年度よりも全体で10%近く減少しました。特に学科によっては、従来毎年のように就職していた企業から求人が来なくなったというところもありました。また企業自体に余裕がないためか、求人票は出すものの選考試験で厳しく選抜する傾向が強まっています。その中で本校の就職内定率が95%を超えていることは、学生達が大変健闘していることを示していると考えます。

近年の就職試験は、面接が最重要であることは変わりありません。特に「自分の考えを自分の言葉で述べる」ことが求められています。また、ここ数年では適性検査を重視する傾向が見られます。就職したのち社内での人間関係から出社できなくなったケースが増加していることから、そのようにならないために適性検査を人物を判断する重要なポイントとしているようです。その点についても今後学生達に適切にアドバイスする必要があると考えます。

進学については、全体で約35%と昨年度並みです。最近では進学希望の割合が増加する傾向がありましたが、不況の影響からか高専卒業で就職した方が有利との考えから進学希望者が余り増加していないと考えられます。進学先も本校専攻科が進学者の約4割弱で、残りが国立大学等であり、これも例年と変わりはありません。しかし、今後各大学では編入学生数減や英語の試験に代えてTOEIC等での評価を導入するところが増加していることから、低学年時からの準備が一層必要になると考えます。

## ■ 24年度の進路概況について

専攻科長 大塚 茂

一昨年度来の東日本大震災やタイの洪水、続く円高不況等の影響により、就活学生にとっては今年度も大変厳しい進路状況だったように感じております。今年度の専攻科修了予定者数は25名で、内就職希望者21名、進学希望者は4名です。この原稿を書いている1月末時点で、ほぼすべての修了予定者の進路が確定しています。就職希望者については、県内に6名、島根県に2名、残りは関西や関東方面の県外企業に内定致しました。実質求人倍率は50倍弱とかなり高いですが、希望者のほぼすべての就職先が内定したことについては、各学科の就職担当の先生方によるご指導のお陰と本人の努力の賜物であると思います。景気は少し上向きようですが、来年度の就職についても同様に厳しい事態が予想されます。専攻科1年生の諸君は十分に実力を養い、希望する企業への就職内定を勝ち取って欲しいと思います。

一方、大学院へは生産システム工学専攻の3名と物質工学専攻の1名が進学することになっています。本校専攻科からの大学院への進学率(16%)は、全国高専専攻科の平均進学率35%程度よりもかなり低く、今後はもう少し大学院進学者が増えるべきであろうと考えています。企業や研究所などに最も望まれている実際の現場に即したもののづくりのスキルを持ち、且つ研究開発の素養も十分に養成された技術者(高専専攻科→大学院修了)の輩出を本校もある程度は担って行きたいからに他なりません。

何れにしても、本校の教育プログラムの根幹であるエンジニアリングデザイン能力を身に付け、企業における研究開発に即戦力となり得る人材の輩出こそが、グローバルな経済環境の中で生き残りを懸ける企業に対し本校が果たすべき使命であると思います。今後もこういった能力を身に付け、変化し続ける社会に対応できる人材へと本校専攻科の学生が育つことを期待しています。

# 5年生の就職・編入学試験体験

## □ 就職活動体験記

5D 貝田 悠輔

私は、シークス株式会社より内定を頂きました。

試験は、一次試験と最終試験と二つに分けて行われました。一次試験は社長との面談とSPIで、最終試験は、人事の方と社長との面接でした。

SPIは言語(国語)と非言語(数学)の一般常識問題でしたが、数学の確率や暗算が苦手な私は、自信を持ってすべての問題を解くことができませんでした。もう少し対策をしておけば落ち着いて問題を解くことができたんだろうなと思い、就職活動の間、悔いがずっと残ってしまいました。一次試験の面談では、「どのような人間が会社では必要か」など聞かれました。とても緊張しながら質問に答えましたが、社長が答えに対して共感してくださりとて話が盛り上がりしました。

最終面接では、人事の方と社長の二人からエントリーシートに書き込んだ内容にそって質問をされました。アルバイトのことや卒業研究のことについて聞かれました。専門的なことについてはまったく触れられず、アルバイトについて深く聞かれました。アルバイトをすることで社会のことについて学ぶことはいいことだ、と教えてくださいました。

今回、私が就職活動において一番大事だなと思ったことは面接です。面接は自分をアピールすることができる場であり、最大限利用しない手はありません。そのチャンスを無駄にしないために日ごろから声を出して喋ったり、敬語を話す練習が必要だと今回の就職活動で学びました。就職活動を控えている人々には日頃からそういったことを心掛けてほしいと思います。

## □ 編入学体験記

5年物質工学科 矢部あゆみ

私は奈良女子大学理学部化学科3年次編入学試験に合格しました。元々、進路は進学希望でしたが、どの大学にするかは全く決めていませんでした。私は女性の社会進出に大いに賛同しており、結婚してからでも共働きたいと考えていました。そこで、私と同じように、社会に貢献したいと考えている女性と同じ環境で勉学に励むことで、お互いを高めたいと考え、古くから社会に羽ばたく女子学生を輩出している女子大学に進学することにしました。奈良女子大学は推薦制度があったことから、面接での受け答えに自信があった私は、この推薦試験を受験しました。

受験前には、自分がいかにその大学に入りたいかを面接で強く訴えるため、大学見学へ行きました。また、米子高専から同学科に進学した先輩の方や、他高専から編入した在学生在にコンタクトをとり、情報収集を念に行いました。面接の練習も、4人の先生方に複数回指導していただきました。

試験は面接の他に、専門科目の口頭試問もあったため、基礎からじっくりと勉強を行いました。また、すべり止めとして他大学の学力試験を受験するために、四年生の秋ごろから英語の先生に編入試験に対応した英語の指導をしていただきました。推薦入試は一般入試より時期が早いので、春休みに怠けないことが一番大切なことだと思います。合格できたのは自分の力だけでなく、まわりの後押しが大きな力となった結果だと思っているので、お世話になった方々には本当に感謝しています。

第16回スターリングテクノラリー

# 米子高専が5年連続日本一獲得

## スターリング冷凍機部門二冠

スターリングエンジン部 部長 谷村 幸太（機械工学科4年生）

平成24年11月10日、日本工業大学（埼玉県）で開催された、第16回スターリングテクノラリー（企業、大学、高専などから79機関189チーム出場）の3V（ボルト）クーラー部門で、スターリングエンジン部チームが優勝し、米子高専として5年連続日本一を達成して金賞を獲得しました。同部門で同一団体の5年連続優勝は全国初、米子高専がもつ連続入賞記録も7大会連続に更新されました。また、初出場した100Vクーラー（一般家庭用100ボルト電源で駆動するスターリング冷凍機）部門でも、日本一となり大会初の冷凍機部門二冠を獲得しました。

3Vクーラー部門は、単三電池2本（3ボルト）電源で駆動させ、冷却部の3分間の低下温度を競います。米子高専の優勝記録は、室温から33.5度で2位に8.4度の大差をつけて勝つことができました。この部門には、新たな機構やアイデアを採用した2機でも出場して3位（銅賞）と6位に入賞できました。100Vクーラー部門は、直径20mm高さ20mmのアルミを10℃冷却させるときの消費電力の少なさを競う競技で、11560Jの記録で優勝しました。

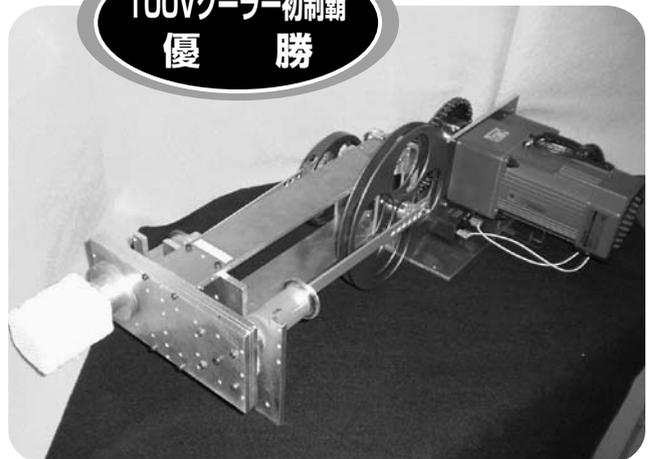
全国の大学や一般の方々と競い合い、これだけの成績をおさめることができたのは、顧問の先生、ものづくりセンター技術職員の方々の支援のおかげでもあり、感謝の気持ちでいっぱいです。次の大会でも、上位入賞できるように、精一杯頑張りたいと思います。



3Vクーラー5連覇  
優勝



100Vクーラー初制覇  
優勝



# クラブ活動報告

## 空手道部 空手道部の活動状況

空手道部指導教員 早水 庸隆

空手道部は平成9年度に機械工学科の大塚茂先生を顧問とし同好会として設立、平成13年度に同好会からクラブ活動に昇格しました。同好会時代の成績も含め鳥取県内では優秀な成績を取っています。設立当時は少なかった部員も年を重ねるにつれ順調に増えていき経験者、未経験者を問わず各大会での上位入賞を目指し頑張っています。

昨年10月に開催された平成24年度鳥取県新人戦大会においては、男子個人形競技で3位、男子団体組手競技で2位という成績を取ることができました。そして、今年1月に開催された平成24年度中国高等学校空手道選抜大会に参加してきました。掲載しております写真はその時のものです。残念ながら、上位入賞とはなりませんでしたが、現在、次の大会に向けて練習に励んでいます。

今年の6月に開催される中国大会は米子市で行われます。ご声援の程、宜しくお願いします。



形競技



組手競技

## 吹奏楽部 アクシデントを乗り越えて第23回定期演奏会を開催

吹奏楽部指導教員 山田 祐司

1月27日(日)、米子市文化ホールで標記の演奏会を開催しました。今回は以下のようなアクシデントが続いて起こり、一時は開催が危ぶまれました。

- 1) 指揮を予定していた山田が12月末に病気で入院、1月始めに退院しましたが、1月中は安静が必要ということで指揮が不可能となりました。急遽、代わりに指揮をしてくれる方を探したところ元後藤藤丘中学校校長の福永博昭先生に引き受けていただけることになりました。
- 2) 本番3日前に部員2人がインフルエンザを発症、出演が不可能となりました。数少ない部員の中の2人の欠場は大きく、他の部員による別の楽器の演奏、パートの差し替えなどを行なって何とか本番を迎えました。
- 3) 第2部に賛助出演の予定だった合唱部はインフルエンザに罹った部員がかなり発生したため、急遽出演取りやめとなりました。
- 4) さらに本番前日のリハーサル後に主要メンバーの1人が発熱。インフルエンザであれば演奏会中止かという事態でしたが、幸い風邪との診断、投薬で熱も下がって一安心。

本番では吹奏楽部OBを始めとする賛助出演者を含31名でエルカミーノリアル、海猿ハイライト、エヴァンゲリオンなどの曲を演奏しました。第2部ではピアノを含めたアンサンブルなども取り混ぜて、多くの聴衆に楽しんでいただきました。



## 卓球部 全日本卓球選手権大会出場&県高校新人戦女子ダブルス準優勝

卓球部指導教員 電子制御工学科 角田 直輝

平成25年1月15日(火)～20日(日)に東京・国立代々木競技場第一体育館で開催された平成24年度天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)に2M永井知明が2年連続で出場しました。今年10月に行われた県予選で優勝しての出場でした。1回戦を気合の入った戦いで見事に突破し、2回戦では力が及ばなかったものの、全日本という舞台で貴重な経験を積むことができました。

【ジュニア男子1回戦】

永井知明 3  $\begin{pmatrix} 11-7 \\ 11-9 \\ 11-9 \end{pmatrix}$  0 阿久津優太(福島・帝京安積高)

【2回戦】

永井知明 0  $\begin{pmatrix} 3-11 \\ 3-11 \\ 4-11 \end{pmatrix}$  3 矢吹 悠(京都・Y.H.Gアスリートクラブ)

一方、女子は平成24年11月9日(金)・10日(土)に琴浦総合体育館で開催された平成24年度鳥取県高校卓球新人戦大会の女子ダブルスで、2C大畑ひかり・1D但井友美ペアが準優勝を果たしました。決勝戦では惜しくも負けて優勝こそ逃しましたが、全国高専大会チャンピオンの実力をいかに発揮することができました。

【女子ダブルス決勝戦】

大畑ひかり・但井友美 2  $\begin{pmatrix} 12-10 \\ 11-2 \\ 8-11 \\ 3-11 \\ 6-11 \end{pmatrix}$  3 坂根佳奈・松本恵利(倉吉北高)

今後も高い目標に向かって努力を続けたいと思います。日頃からご支援・ご声援いただいているみなさんに深く感謝します。ありがとうございました。



全日本ジュニア (永井vs阿久津)



県高校新人戦 女子ダブルス決勝 (大畑・但井)

## ダンス同好会 第8回ハイホットダンスフェスティバルに参加して

電子制御工学科2年 山田 峻兵

米子高専ダンス同好会2年、山田峻兵です。僕たちは去年12月26日に、米子高校ダンス部主催のハイホットというイベントに参加させていただきました。このイベントは毎年行われているものです。僕たちの代は去年参加しなかったので、今回が初参加となりました。

このハイホットというイベントは、僕たちをすごく成長させてくれたものだと思います。このイベントに誘ってくださった米子高校ダンスには本当に感謝しています。来年は大学進学を考えているメンバーもいるので、もしかしたらこれが最初で最後のハイホット、もっというと僕たちがこのメンバーでダンスをする、最後のイベントになるかもしれません。それだけにこのイベントを皆が悔いなく楽しめた事は、本当に良かったと思います。イベントがなくても、これからもダンスを楽しむことを忘れず活動を続けていく予定です。

最後に、僕の好きなダンスに関する格言をのせます。～To watch us dance is to hear our hearts speak.～インディアン民族の格言で、「我らの踊りを見る事は、我らの心を聴いていることと同じ」という意味です。僕も、自分の心を踊りで表現できる、そんな踊り手になれたらいいなと思っています。ここまで読んで頂き、ありがとうございました。

# 全国高専第23回プログラミングコンテスト

第23回プロコンを終えて —5年連続入賞（課題・自由部門）&初勝利（競技部門）—

指導教員 電子制御工学科 河野 清尊（自由部門）  
一般科目 倉田 久靖（競技部門）

全国高専第23回プログラミングコンテスト本選が今年の10月13日（土）と14日（日）の両日、有明高専を主管校にして大牟田市の「大牟田文化会館」で行なわれました。

有明大会は、6月30日に書類審査による予選が行われ、これを通過した課題部門21作品、自由部門20作品および競技部門58チームによって競われました。また、競技部門にはハノイ国家大学（ベトナム）、成都東軟学院（中国）、モンゴル科学技術大学からの参加があり、高専からの参加チームと合わせてNAPROCK第4回国際プログラミングコンテストとしても開催されました。

米子高専からは、課題部門と自由部門に各2作品および競技部門に1作品の応募を行い、8年連続のフルエントリーを達成することができました。そのうち、自由部門の1作品と競技部門の1作品が予選を通過して本選に出場しました。本選の結果を別表に、出場した学生の感想を以下にまとめました。

本選では、自由部門に出場した電子制御工学科チームが「特別賞」を受賞することができました。2008年の課題部門での「最優秀賞・文部科学大臣賞受賞」、翌年の課題部門、一昨年の自由部門、そして昨年の課題部門での「特別賞」に続き、5年連続の入賞を果たすことができました。

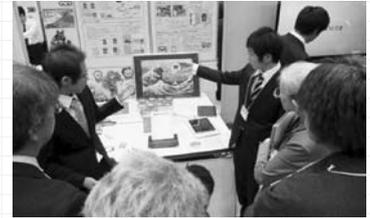
受賞作品は、自分で撮影した写真あるいは描いた絵などの画像から、大きさや色を指定すると自動的にイメージシートを生成し、アイロンビーズの並べる順番をiPad上にナビゲートしてくれるシステムです。子供が楽しめるのはもちろん、ビーズアートの作品を作れることで、大人も楽しめるシステムに仕上げることができました。

作品に対する会場内での評価は高く、（独）情報通信機構の「起業家甲子園」への出場作品に選抜され、3月7日（木）に東京で行われる第2回大会に出場することになりました。また、作品の実用性と完成度が高く、すぐにでも使いたいという要望が多かったことから、現在は、Apple Storeにアップロードすべく作品のブラッシュアップに取り組んでいます。今後は、Windows8やAndroidのタブレット端末でも動作させよう、と学生たちは意気込んでいます。

齊藤校長先生をはじめ応援くださった教職員のみなさん、本当にありがとうございました。

また、毎年、製作費の援助をいただいている米子高専振興協会の会員企業のみなさんにもこの場をお借りしてお礼申し上げます。来年度の第24回大会は旭川市で開催されます。今後ともみなさんのプロコンへのご理解とご支援を宜しくお願いします。

（プロコン公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/> 起業家甲子園：<http://www.venture.nict.go.jp/koshien>）



第23回プロコン自由部門デモ審査



第23回プロコン自由部門表彰式

部 門	自由部門	競技部門
作 品 名	アイロンM@STER —アイロンビーズ製作支援システム—	テーマ：「数えなサイ～Here are Dice!～」 サイコロを数えるだけの仕事 —時給3156ジンバブエドル—
参加学生	4D近藤 醇、4D木山雄太、3D鷺見知洋、 4D盛山竜之介、4D田中雄介	3E渡邊宗成、3E福本裕法、2D勝部択智
結 果	特別賞	準々決勝敗退

## プロコン（自由部門）を終えて

電子制御工学科 4年 近藤 醇

私にとって今回は2回目のプロコン出場でした。2回目といっても昨年度はプログラムを書いていないので、プログラムを書いたのは今回が初めてです。

最初の案出しの時点でプログラムを書ける人がゼロだったので、良いアイデアはたくさんあったのですが、技術的に数ヶ月でどこまでできるかという問題があり、できることがかなり絞られてしまいました。何とか落とし所が見つかり開発が始まったのですが、最初は何をすればよいのかもわからなくてポカーンとしてました（笑）。そんな中、他のメンバーが先陣を切ってプログラムを書き始めてくれたので、その流れに乗って何度もつまづきながらもGoogle先生の力を借りて開発を進めていくことができ、なんとか完成させることができました。

技術的には高くなかったのですが（むしろ会場内で一番低かったかも）、完成度、実用性、アイデア、プレゼン等々を評価された結果、特別賞を受賞することができました。更に、会場でいきなり起業家甲子園に選抜されるという嬉しいハプニングも起きました（笑）。

最初はどうなることかと思いましたが、今回のプロコンを通して技術的にも精神的にもとても成長することができました。プロコンに参加するにあたり協力してくださったすべての方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。来年度のプロコンも今年度の経験を生かして頑張りたいと思います。



## プロコン（競技部門）に参加して

電気情報工学科 3年 渡邊 宗成

今年度のプログラミングコンテストでは、コンピューター同好会から3Eのメンバー2人と2Dのメンバー1人の合計3人で競技部門に参加させて頂きました。

今年の競技は、机の上にサイコロが無造作に山積みされており、そのサイコロを、調査機材を活用して、どれほど正確に、早く数えることができるかを競うものでした。自分たちのチームはOpenCVという画像処理専用のライブラリを使用し、この課題へのアプローチを試みました。コンピューターにサイコロを数えさせるには、まずコンピューターにサイコロの形を教えなければなりません。そこでOpenCVの楕円フィッティングを用いて楕円形に近いものをサイコロとして捉えさせてみたところ、サイコロが1個1個散らばっている時は精度良く数えることができましたが、密集しているとその密集している部分を1個として数えてしまうことがわかりました。そこで全体のサイコロの見た目の面積と競技開始直前に公表される重さから計算し、サイコロの大体の数を割り出すことにしました。その結果、1回戦は1位で通過出来ましたが、次の試合では負けてしまいました。来年度も出場できたら頑張ります。応援ありがとうございます。

## 2つの学術集会にてポスター賞を受賞

物質工学科 谷藤 尚貴

若い年代の科学研究を活性化させることを目的に、近年は様々な学会・コンテストにおいて学生の優秀発表を表彰する制度が整備されるようになりました。このような競争の場において入賞を目指すことは大切なことですが、我々の研究グループでは参加して議論をする価値が有るレベルの高い学術集会を選び、挑戦することも重視しています。今年度は、本学科に所属する学生が11月に行われた2つの化学系の学会にて入賞する幸運に恵まれました。いずれも20倍程度と高倍率の比較審査により選出された入賞で価値が高だけでなく、専門性の高い集会で研究成果について大学院生・大学生と対等に議論をすることにより、自分の研究に自信を持つことができる良い機会になったのではないかと考えています。



### 日本化学会西日本大会優秀ポスター賞入賞

物質工学科 5年 赤井 大気

私は佐賀大学で行われた日本化学西日本大会で研究発表を行ってきました。会場では口頭発表に加えて281件ものポスター発表があり、どこも発表者の熱気で満ちあふれていました。その中で、私は研究室で以前より研究が進められてきたリチウム二次電池の新規正極材料に関する成果をポスターで発表しました。高専生が圧倒的に少なく、大学生や院生が多く発表している中での発表でしたが、研究内容やポスターの完成度から注目を集めることができ、発表を聞いていただいた多くの方から好意的な感想や助言をいただきました。本学会への参加は自分にとって刺激を受ける良い機会になっただけでなく、有機化学分野で4件のみに与えられるポスター賞にも選出していただきました。このような機会を与えてくださった先生には、深く感謝しています。

### 2012ハロゲン利用ミニシンポジウムポスター賞受賞

物質工学科 5年 松井 郁也

今回、私は2012ハロゲン利用ミニシンポジウム(臭素化学懇話会主催)において「ヨウ素を用いた無溶媒条件で進行するS-S結合形成反応の開発と二次電池材料への応用」というテーマで発表を行い、ポスター賞に選出して頂きました。今回の発表では自分がこれまでに行ってきた研究成果を最新データとして聴衆に示せたことや、いままでの学会経験を生かすことができたこと、さらには学会の開催地が私の編入学先である岡山大学だったことが自身の発表に対するモチベーションを高めてくれました。これらの要因が重なったことが、今回の入賞に繋がったと考えています。今回の競争を勝ち抜いた経験は、来る大学での学業および研究活動においても、大きな励みになると考えており、このような貴重な機会を与えてくださった指導教官である谷藤先生にこの場を借りて御礼申し上げます。

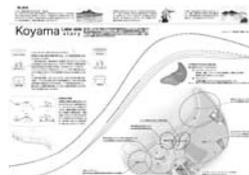
## 平成24年度鳥取県学生建築アイデアコンテストで最優秀賞を受賞

建築学科 細田 智久

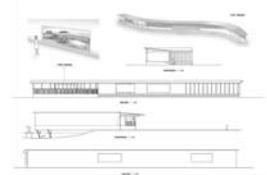
2012年10月6日(土)に鳥取県民文化会館で最終審査会が行われた「成24年鳥取県学生建築アイデアコンテスト」において、米子高専建築学科5年生の山根万実さん・清水優里さんのチームが提案した「Koyama Lake side story」が最優秀賞を受賞しました。コンテストは2段階で審査され、2次最終審査に出場できた5作品の内、3作品が米子高専建築学科の学生作品でした。最優秀賞の他にも5年生の林原孝樹くん・松崎篤洋くん・村山雄介くんのチームが提案した「湖山八勝」が優秀賞、3年生の安部夏緑さん・松本萌夏さんのチームが提案した「ほくたちのつながるとこ」が努力賞を受賞しました。惜しくも最終審査出場を逃しましたが、2年生の宮崎拓皇くん・秦瑞希さん・若林咲さんのチームも次の世代を感じさせる力作を残しました。

このコンテストは、「鳥取市の湖山池公園金沢地区のランドスケープに調和した休憩舎のデザイン」を競うものとして実施され、湖山池西岸の金沢地区公園約4ヘクタールの再整備計画および休憩舎の計画を行うものでした。応募資格は、鳥取県内の大学・短大・高専の学生および院生で、応募作品は鳥取大学や鳥取環境大学の学生作品を含めて11作品ありました。参加学生たちは2012年9月2日に湖山池湖畔の大郷会館で行われた地域住民とのワークショップや現地視察を通じて敷地のイメージをつかみ、夏休みの9月いっぱいをかけて提案図をA2版2枚にまとめました。

山根万実さん・清水優里さんのチームが提案した最優秀賞作品は、4haという広大な敷地に対して遊具・運動・散歩・親水エリアを適切に配置し、シンボルツリーを残しながら木造平屋建てでゆるやかに流線型を描く平面を持つ休憩舎を計画し、人がそれを巡る動線の中に湖山池に伝わる伝承「湖山長者」の物語を再現して見せる物語性を演出したところが高く評価されました。この最優秀賞案に基づいて平成26年度をめどに実際の設計や整備が行われる予定です。



5A山根さん・清水さんの最優秀作品の公園配置図



最優秀作品の休憩舎提案図

## 全国高専英語プレゼンコンテスト初出場！

外国語科

平成24年11月17日に、大島商船高等専門学校において、第28回中国地区高等専門学校英語弁論大会が開催され、米子高専は弁論の部、暗唱の部にそれぞれ2名、計4名出場し、弁論の部で物質工学科4年長谷川美桜さんが優勝、暗唱の部で電気情報工学科3年岡本美紀さんが準優勝の栄冠に輝きました。長谷川さんは昨年度弁論の部で準優勝となり、全国高専英語プレゼンテーションコンテストのスピーチ部門に出場しました。今年度は優勝で再び出場しました。(全国高専英語プレゼンテーションコンテストのスピーチ部門には、各地区の弁論大会の弁論の部の優勝者、準優勝者が参加することになっています)

全国高専英語プレゼンテーションコンテストには、3人一組で参加するプレゼンテーションの部もあり、予選としてビデオ審査を経た高専のチームが出場できます。今年度は全国16校の応募の中から10校が本選に出場し、米子高専も初めての出場を果たしました。残念ながら、スピーチ、プレゼンの両部門とも全国大会では入賞には届きませんでしたが、参加学生達は練習を積み重ね、多くのことを学んだと思います。来年度の中国地区高専英語弁論大会は米子高専が主管校となり、米子で開催されます。学生達の一層の奮起と頑張りを期待しています。



中国地区高専英語弁論大会表彰の光景



全国高専英語プレゼンテーションコンテスト/スピーチコンテスト出場者

## 鳥取県・バーモント州青少年交流事業

鳥取県・バーモント州(米国) 青少年交流事業のご紹介

特任主事(国際交流等) 香川 律

鳥取県と米国バーモント州との交流は、平成16年にバーモント州日米協会と鳥取県国際交流財団が姉妹組織協定を締結するなど民間の活動を中心に進められて参りましたが、平成20年に鳥取県とバーモント州の間で「国際親善に関する覚書」が締結され、地方政府間でも文化や教育など様々な分野での交流を継続することが確認されました。本事業は、県内の青少年をバーモント州へ2週間程度派遣し、ホームステイをしながら現地青少年と共にフィールド・スタディを中心とした環境学習や学校交流を実施するもので、国際的視野を持った青少年の育成と相互交流の促進を目的に平成21年度から始まっています。今年度は本校から2名の学生が応募・採択され、昨年10月18日～29日の日程で、本事業に参加いたしました。

鳥取県・バーモント州青少年交流事業に参加して

C2 綿谷 日菜子

私は鳥取県の国際財団が毎年実施する、鳥取県・バーモント州青少年国際事業に参加しました。アメリカのバーモント州に行って、約10日間ホームステイをしながら、バーモント州の文化を学びました。この事業のテーマは食べ物と食糧供給システムを通して環境を考えることです。バーモント州の広大な畑やコーボ、牧場、果樹園について、オーガニック野菜を大切にしていることが分かりました。オーガニック野菜は、生産者の方、販売者の方々の努力でできていて、感動しました。また、学校交流はとても楽しかったです。バーモント州のみんなは勉強熱心で、何事も思いっきり楽しんでいました。私はパートナーの女の子に教えてもらった言葉で気に入ったものがあります。“Y.O.L.O”です。「You only live once」、人生一度きりという意味です。私はアメリカの子と会話ができるようにはずまなかつたので、あきらめずもっと英語を勉強し、今度は日本のいいところをたくさん話したいと思います。ご指導を頂いた先生方や親切にくださったみなさんのおかげでとても良い思い出を作ることができました。本当にありがとうございました。



E2 小林 周平

僕には、海外で活躍できる国際感覚に長けたエンジニアになるという夢があります。そのための一歩とするために、本事業に参加しました。本事業を通して僕の心に深く刻まれた考えがあります。それは“人間と自然が共存するのではなく、人間も自然の一部として生活すべき”というものです。農業団体や学校だけが環境問題に取り組んでいるのではなく、州全体がサポートしている様子からその言葉の深い意味を強く感じました。この10日間で、工業・技術や自由の尊重、環境への先進的配慮など、アメリカの多くの素晴らしい面を観ました。また、海外での自分の可能性も見出し、将来への夢が膨らみました。お世話になった全ての人に感謝いたします。

## 中国地区高専・海外協定校 合同研究発表会 in Dalian

中国地区高専・海外協定校 合同研究発表会 in Dalian のご紹介

特任主事(国際交流等) 香川 律

企業活動のグローバル化が加速するなか、高専が目標とする創造的かつ実践的技術者の育成に加え国際的に通用する技術者教育が強く求められています。そのため、グローバル・ビジネスにおける共通語とも言える英語を使ったコミュニケーション能力は、高専学生にとって極めて重要な修得内容の一つと位置づけることができ、各高専の学生達が、日頃の研究成果や国際化への思考を英語で発表し意見を交わすこと、更には、他国の学生との交流を通じて国際的技術者としての素養を身に付けることなどを狙いとし、中国地区高専と海外協定校との協力によって実現した事業で、今年度は、昨年11月14日～16日の日程で実施されました。

中国地区高専・海外協定校 合同研究発表会 in Dalianに参加して

C3 ムハンマド ファドリル

大連で色々な活動をしました。発表を中心として他にも、例えば大連市内を見学したり、工場見学をしたり、オリエンテーリング活動をしたりしました。一番印象に残ったものはオリエンテーリングです。なぜなら、この活動を通じてみんなで協力して課題を完成させ多くの話し合う機会を持てたので、友達の優しさがよく分かるようになりました。これからも、海外へ行く機会があればぜひ行きたいと思います。海外に行くからこそ、世界が見えると思うからです。



C5 竹村 祐輝

発表会ではとても緊張しましたが、大連に行くまでに自信がつくまで発表練習をしたため、うまく発表が出来たと思います。しかし、英語の質問を聞き取り、うまく答えることが出来なかったため、とても悔しい思いをしました。また、他の高専で英語をうまく話し、発表と質疑応答もできている人がいてすごいと感じました。そのため、今よりもっと英語を勉強してほかの高専の人たちと同じくらい英語を話したいと強く思いました。



S2 中村 則貴

今回一番印象に残ったのは2日目の合同研究発表会です。これは日中の学生合わせて20人程の規模でしたが、各人がこれまでの研究成果を英語で発表しました。私もただどしくではありましたが、自分の研究成果を伝えるために精一杯英語で発表を行いました。今回の合同研究発表会で私は中国と日本のコミュニケーション手段としての英語の重要性を痛感し、私はいつか訪れる機会に備えて英語をしっかりと学びたいと思いました。



## 国際シンポジウム ISTS2012

### ISTS2012のご紹介

ISTS (International Symposium on Technology for Sustainability) は、高専学生（主として専攻科生）に対し国際的な雰囲気の中で英語による研究成果の発表機会を提供し、学生達の英語コミュニケーション能力の向上と国際感覚の涵養に資すること主目的として国立高専機構が始めた事業で、高専教員の英語による研究発表の指導力を高めるなど、高専全体の英語力と国際性の向上に寄与することが期待されています。

特任主事（国際交流等） 香川 律

### 国際シンポジウム ISTS2012に参加して

S1 荒木 優一

11月21日から24日にタイ王国バンコクのSwissôtel Le Concordeで開催された国際シンポジウムISTS2012に参加しました。シンポジウムでは、省エネルギー材料である高温超伝導体の電気的性を改善する方法について、英語による口頭発表を行いました。また、ISTS2012での出来事を一言で表すなら“初体験”です。海外渡航に始まり、英語での研究発表、外国人との交流など今までにない経験を多く得ることができ、とても刺激的な4日間でした。特に英語での研究発表は今までに一度も体験したことがなく、英語が不得意な私には一番の難関であったと言えます。この難関を突破するため、私は 普段参加している研究発表の練習に設ける時間の倍以上の練習時間を設けました。その他にも、タイ王国の文化に触れ、得られたことがあります。タイ王国での挨拶は男性の場合“สวัสดี ครับ [サ ワディー クラッ (プ)]”と言いますが、挨拶の際には立ち止り、手を合わせたまま一礼します。これはただの挨拶ですが、その動作から敬意が伝わってきますか。このように言葉だけでなく、一つ一つの動作からも敬意を伝えることは現代の日本人が学ぶべき点であると感じました。このように、今回のISTS2012での初体験は私の中で貴重な経験になると思います。この貴重な経験を、今後の研究活動に活かせるよう精進したいと思います。最後になりますが、英語が不得意な私に手厚く御指導して下さいました指導教員の田中博美准教授に厚く御礼申し上げます。



### 国際学会IUMRS-ICEMでSilver Awardを受賞

電気情報工学科 田中 博美

9月23日(日)～28日(金)パシフィコ横浜で開催された国際学会 International Union of Materials Research Societies-International Conference on Electronic Materials 2012(IUMRS-ICEM 2012-国際材料研究学会-電子材料国際会議)において、研究内容を評価されSilver Awardを受賞しました。

発表テーマは“Improvement of Intragrain Critical Current Density in Bi-Based Superconductor by Self-Assembled Two-Dimensional Nanoplane Defects(自己組織化2次元ナノ平面ピンニングセンターによるBi系超伝導体の粒内臨界電流密改善)”でした。

このSilver Awardは選考対象者、約1200名の中から選出された受賞でした(受賞者数Gold:4名,Silver:16名)。また、高専教員による受賞は初めてでした。今回の受賞には大変驚いているのと同時に良い励みにもなりました。



### 電気・情報関連学会中国支部第63回連合大会で3件の奨励賞と1件の優秀論文発表賞を受賞

E5 上本光太、E5 角 浩志、E5 松本 凌、S2 富谷真吾

10月20日、鳥根大学において平成24年度電気・情報関連学会中国支部第63回連合大会が開催されました。その中で電気情報工学科田中博美研究室所属E5上本光太、E5角浩志、E5松本凌が、それぞれ奨励賞を、S2富谷真吾が優秀論文発表賞を受賞しました。発表内容はそれぞれ「Bi系高温超伝導ウイスカーの新規育成法」、「Bi系高温超伝導体における置換制御」、「超伝導ウイスカーにおける成長機構の考察」、「高温前処理法によるBi系高温超伝導ウイスカーの育成と評価」です。なお、松本の発表は山神成正氏、玉井博康氏(ともに(地独)鳥取県産業技術センター機械素材研究所)の協力による成果でした。

【上本】この度の受賞を受け、“表現者としての新たな一歩が踏み出せた”と感じました。社会人として一企業で働く来年度ですが、研究活動を通して学んだaggressive精神を忘れずに学会発表を続けたいと思います。

【角】8月に行われた高専学会で賞をいただいた時は、専攻科生の方の連名という形でした。今回、自らの発表で受賞することができたことを自信と誇りにし今後、社会人として生きていくうえでの糧にしていきたいと思えます。

【松本】“This work deserves a Nobel Prize.”発案者のS.Tsunashima氏(ダイセル化学)は言いました。私がある意志を継いで半年後、この名誉ある賞を頂けたことを誇りに思います。この場を御借りして、研究を支えて下さった全ての方に厚く御礼申し上げます。

【富谷】今回このような賞を頂けたのは、支援をして下さった先生方のおかげです。有り難うございました。



### 第22回日本MRS学術シンポジウムで奨励賞を受賞

電気情報工学科 田中 博美

9月23日(日)～25日(火)横浜みなとみらいで開催された第22回日本MRS学術シンポジウム(MRS-Material Research Society)において研究内容を評価され、Award for Encouragement of Research in Materials Science(奨励賞)を受賞しました。発表テーマは“Hydrogen Storage in High Temperature Superconductor(高温超伝導体における水素吸蔵)”であり、高温超伝導体が水素を吸蔵する能力があることを発見したという内容でした。この発見により、高温超伝導体を燃料電池の材料としても利用できる可能性が広がりました。本受賞は前回大会に続き、2年連続での受賞でした。

### 米子高専50年誌への写真等募集

米子高専50年誌編集部部长 永井 猛

平成26年発行予定の本校創立50周年記念誌に載せる古い校舎・行事等の写真・資料を探しています。お持ちの方は、何年頃かを書き添えて、ご寄贈いただけると幸甚に存じます。掲載にあたりましては、編集部に一任ください。送付・お問い合わせは米子高専50年誌編集部(〒683-8502 米子市彦名町4448 TEL0859-24-5004)まで。

### 編集後記

今回は、本科卒業生、専攻科修了生特集号でしたが、トピックスが思いのほか盛りだくさんでよかったですと思います。なお、年度末にご転勤・ご退職の方もおられたのですが、ページ数が足りなく、新年度特集号にて紹介させていただきます。悪しからずご了承ください。

紙面へのご意見・ご感想を、メール(hikona@yonago-k.ac.jp)にてぜひお寄せください。

\*記事文中において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…一般科目、S…専攻科

### 発行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5023 FAX: 0859-24-5029 印刷：株式会社高下印刷  
E-mail: hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/ ⇒メニューより「キャンパスライフ」